



# 映画好きで マンガを描くのが得意だった 「昭和」の少年

津留崎毅 教授

## ■ 自己紹介

私の専門は、英語学の統語論です。統語論とは、文構成の原理やプロセスの研究ですが、簡単にいえば「文法の研究」です。担当科目は、「英文法研究」、「英語学特講Ⅰ」、「専門領域研究講座」、「卒業研究」などです。私の授業では、中学校や高等学校で教えられている英文法の見直しをします。文法といえば、覚えるべき内容がすでに確定され、学生はただそれを覚えるだけの「終わってしまった分野」のように感じる人がいるかもしれませんが、実は、そうではありません。文法は、ダイナミックでエキサイティングな生きた研究分野なのです。中・高で学ぶ文法は、あくまでも一つの「分析案」あって決して絶対的なものではないことを実感してみませんか？

私の趣味は映画鑑賞で、様々なジャンルの作品を見ます。特技はマンガを描くことで、好きなマンガ家は、古くは手塚治虫（「火の鳥」）や横山光輝（「鉄人 28 号」）や石ノ森章太郎（「サイボーグ 009」）、最近では浦沢直樹（「MONSTER」「20 世紀少年」）です。